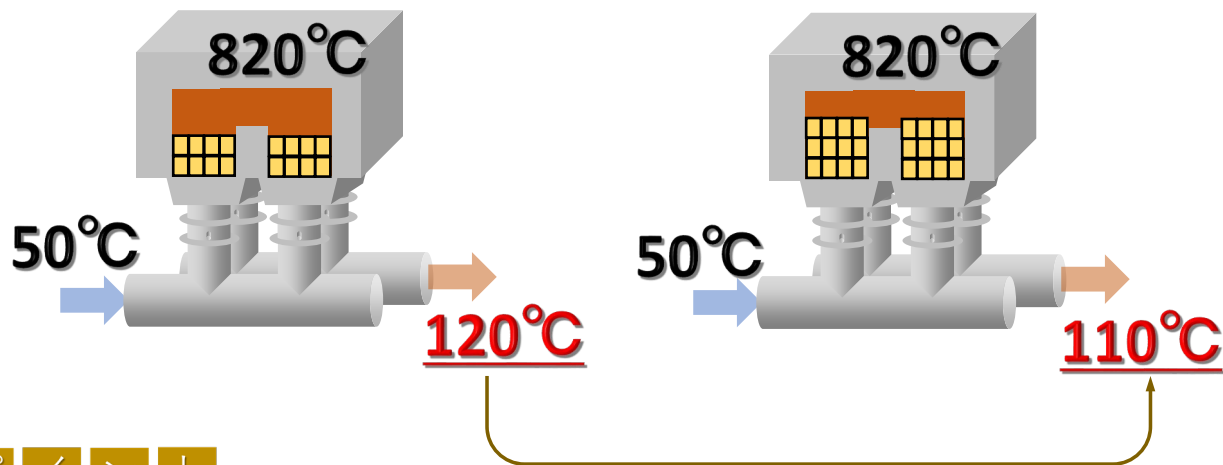


排ガス処理中の燃料消費量が多い



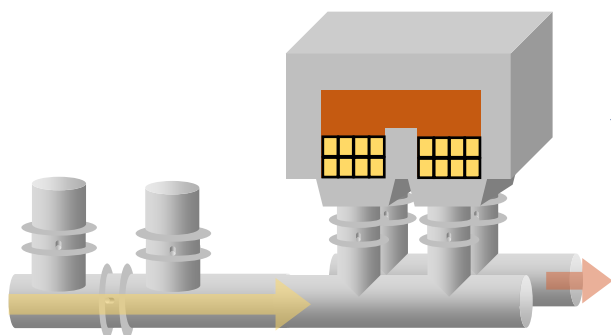
ポイント

なぜ: RTO入出の「温度差」が小さくなれば消費熱エネルギーは小さくなる

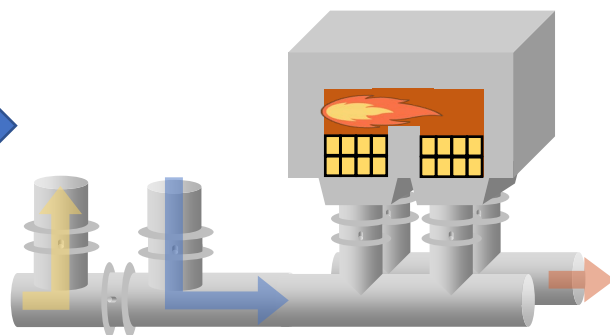
方法: 「蓄熱体数変更」で熱効率UP

待機を頻繁に繰り返す又は待機が長い

運転



待機



ポイント

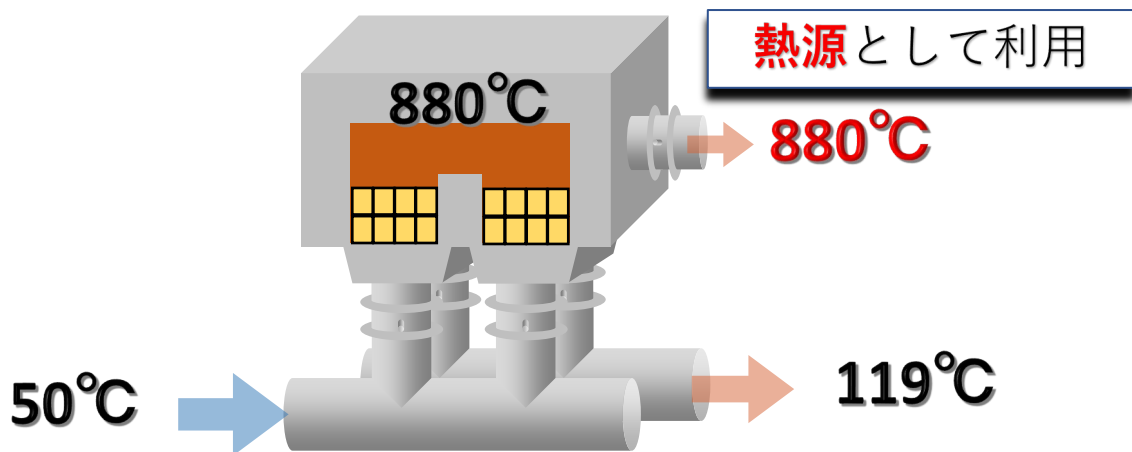
なぜ: 待機中はVOCが含まれていない空気を温めている

方法: 「蓄熱待機モード」ソフト追加で待機中の燃料を削減

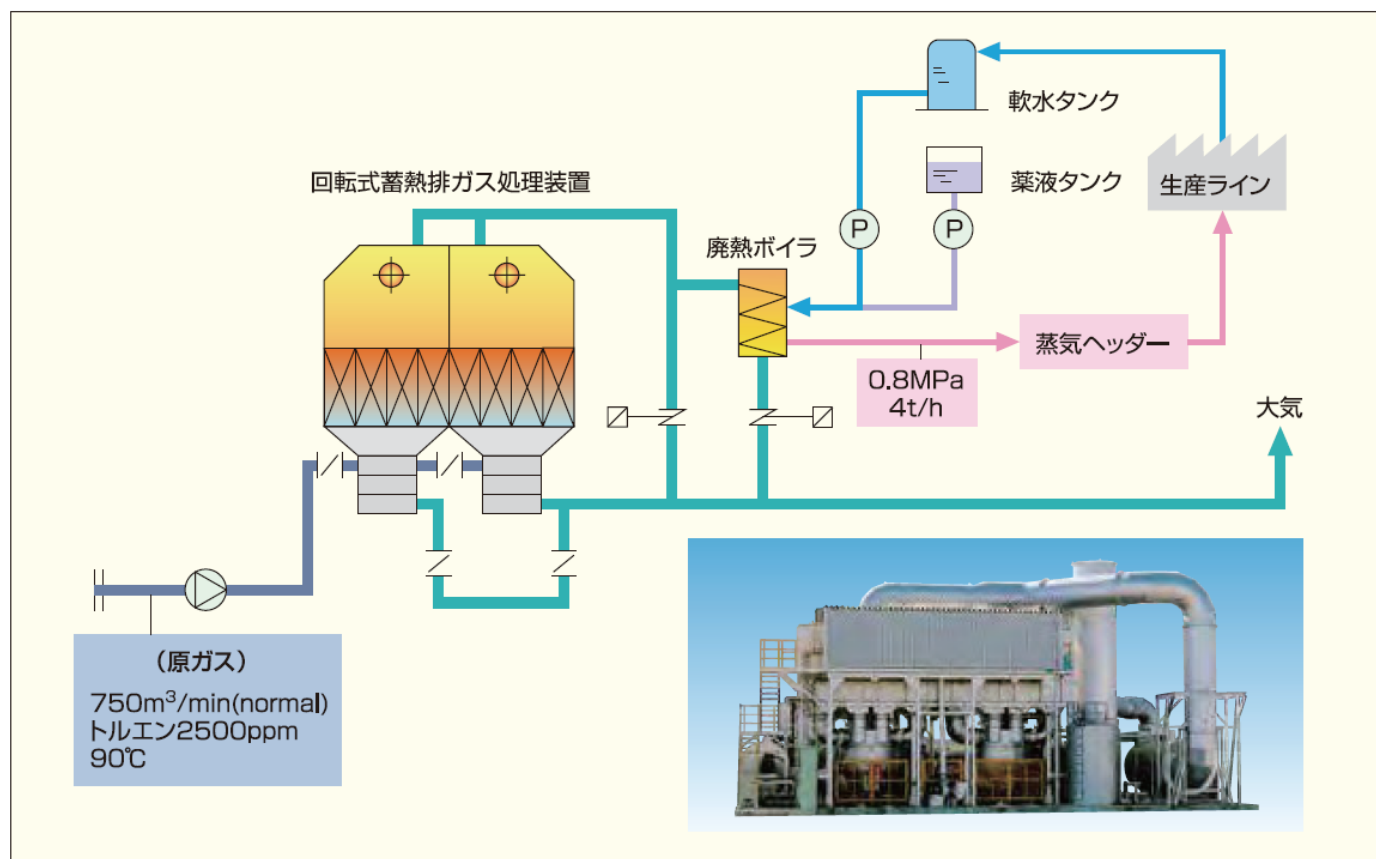
RTOの「余った熱を利用したい」を解決①

Chugai Ro

ホットバイパス弁(HB弁)が開いたときの熱を利用



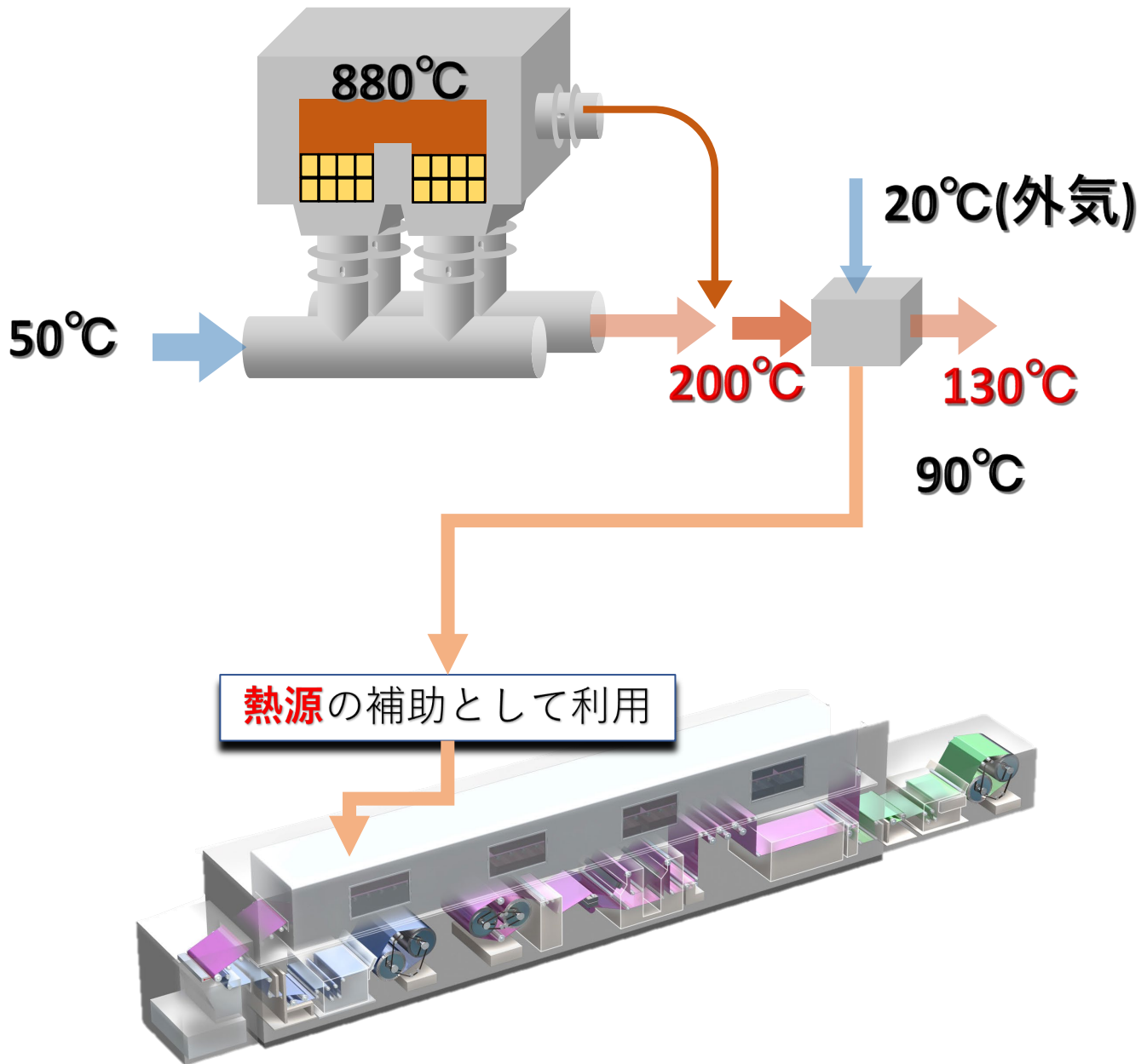
システム実績例1:回転式蓄熱排ガス処理装置+廃熱ボイラ



ポイント

なぜ: VOCの熱量だけで自燃し**HB弁**から頻繁に抜熱している
方法: 捨てる熱からボイラで蒸気を作る

RTOの廃熱を利用



ポイント

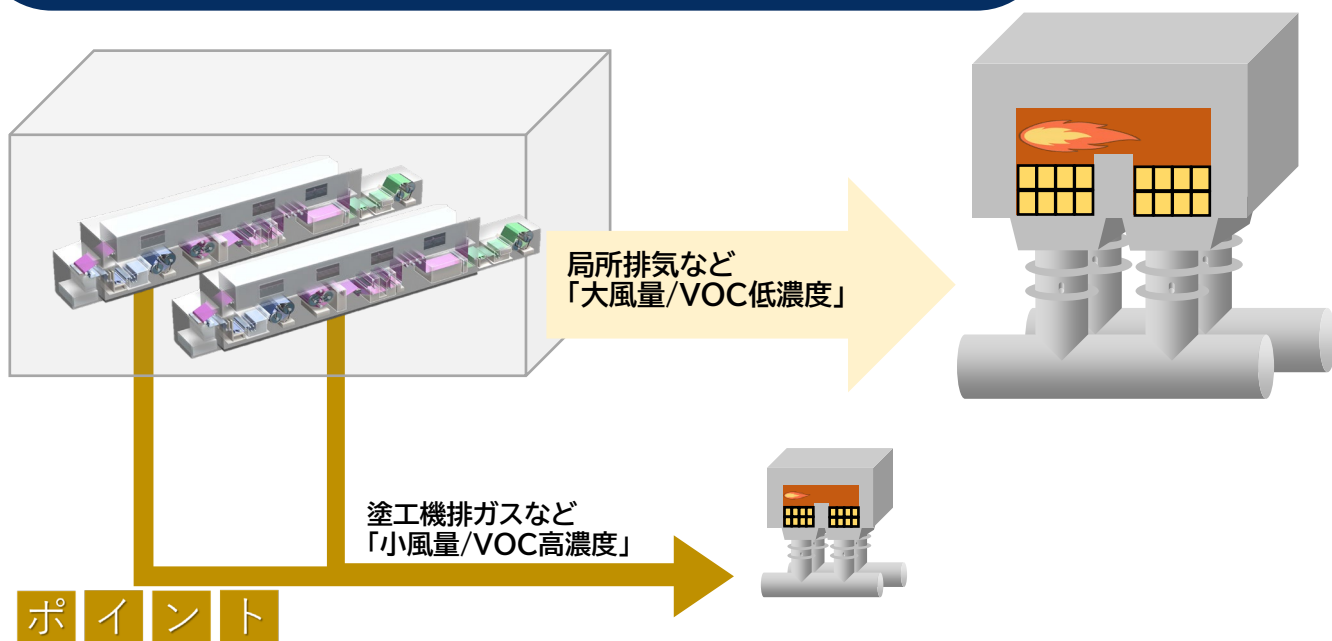
なぜ: RTOの排気温度は捨てる熱である

方法: 捨てる熱から熱を回収して熱源利用

「VOCが**薄い大風量**の排ガスを効率的に処理したい」を解決

Chugai Ro

薄くて大風量の排ガスをそのまま処理すると
装置サイズが大きく、ランニングコストも大きい



なぜ:局所排気などの**薄くて大風量**の排ガスは熱量が小さく
燃料の消費量が大きい

方法:**濃縮脱臭システム**で小風量/高濃度化して処理

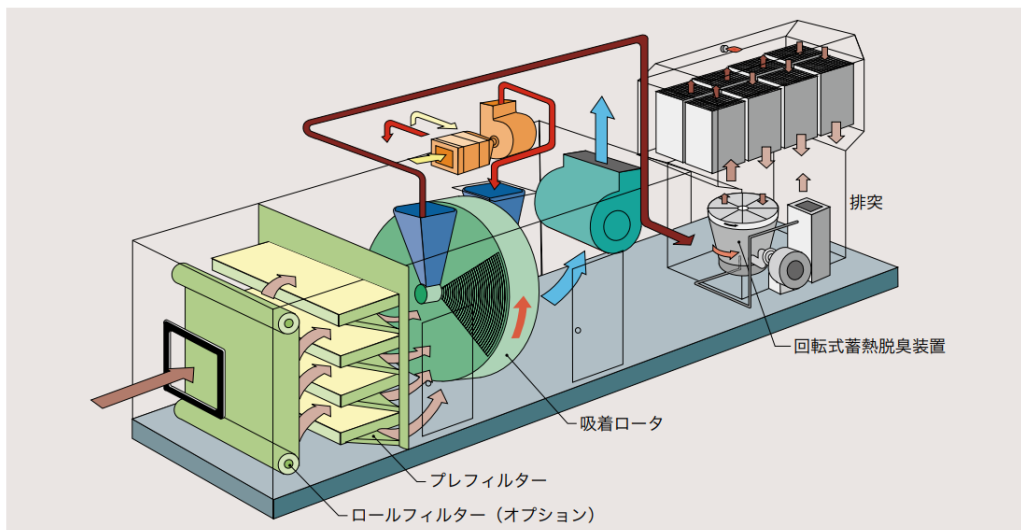
■排ガスの濃縮脱臭システム

燃焼・脱臭装置を $\frac{1}{10}$ ~ $\frac{1}{20}$ に小型化

低濃度排ガスを直接燃焼
処理するのは、空気を
燃やすようなもので不経済

吸着ロータで悪臭を分離、
小風量に濃縮し、小型の
蓄熱脱臭装置で無害化

処理風量が小さくなり、
コンパクトで熱効率の高い
脱臭装置を使うことで、
ランニングコストを大幅低減

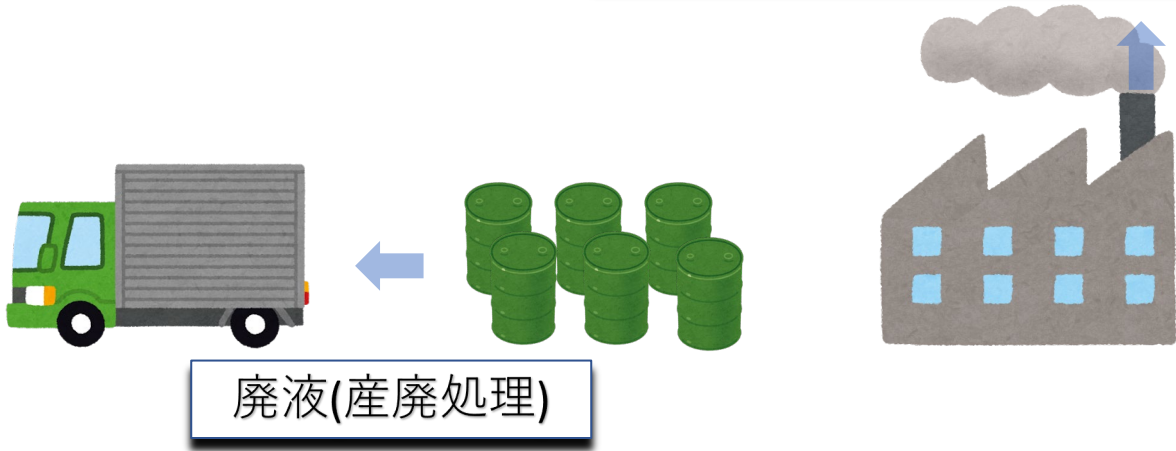


「**廃棄している排ガスや廃液**」から
「**エネルギー利用**」したいを解決

ChugaiRo

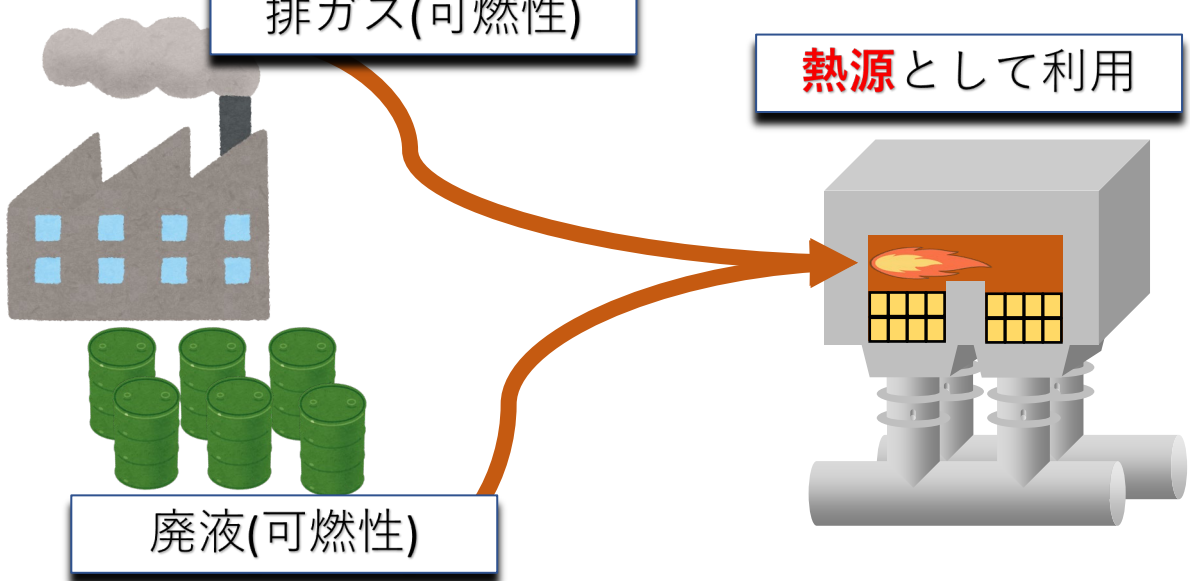
工場から出る熱量を持つ排ガスや廃液を廃棄処理

排ガス(フレアスタック/放散)



排ガス(可燃性)

熱源として利用

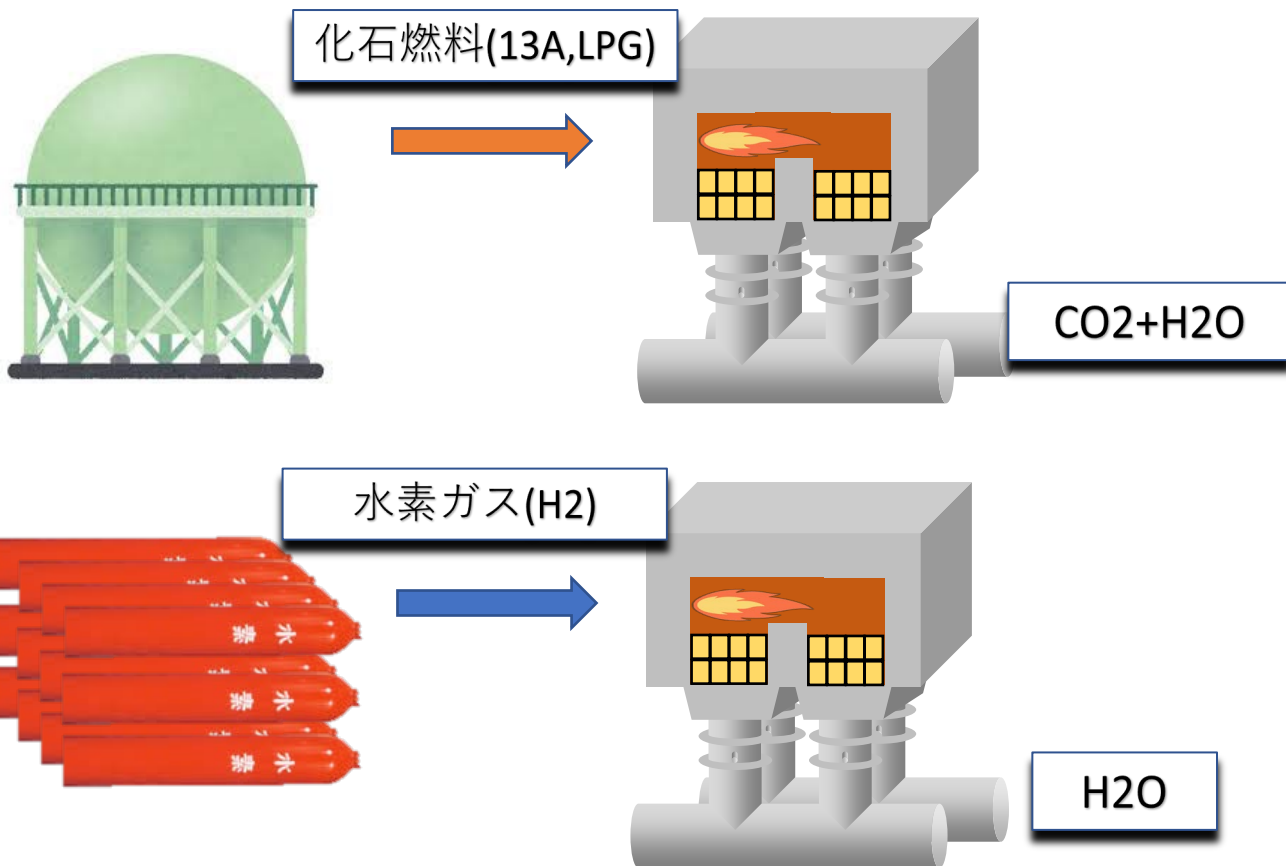


ポイント

可燃性の排ガスや廃液がある場合、**バーナ燃料に転化**する

※さらに**廃熱ボイラ付き設備**なら、**強制燃焼**で蒸気を生成

水素化でCO2排出量を削減したい



HSGB型 水素バーナ
HSGB TYPE HYDROGEN BURNER



HSGB-H2-L 型
ハイスピードガスバーナ
(長炎型)
HSGB-H2-L TYPE
HIGH SPEED GAS BURNER
(LONG FLAME TYPE)



HSGB-H2-H 型
ハイスピードガスバーナ
(短炎型)
HSGB-H2-H TYPE
HIGH SPEED GAS BURNER
(SHORT FLAME TYPE)

ポイント

なぜ: **水素を燃焼**することで**CO₂**を排出しない

方法: **水素バーナ**への燃料転換